



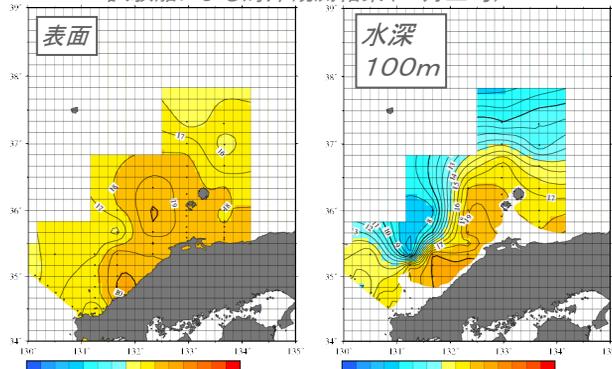
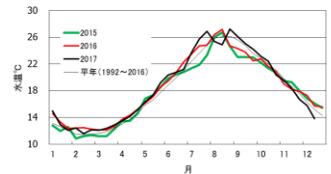
## 鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

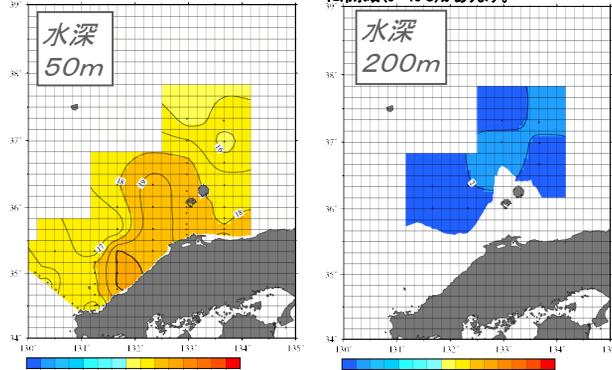
12月中旬 13.8℃

平年より 1.4℃低め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は18～20℃で、先月より1～2℃低下し、去年に比べ1℃高い値となっています。

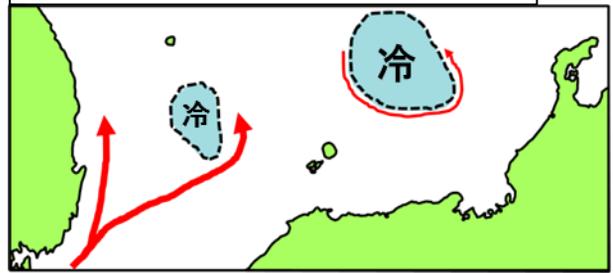
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は17～20℃を示し、先月より1～2℃上昇しました。浜田沖北緯35°40'に冷水域(8～10℃)があります。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は18～20℃で、先月より1～2℃低下し、去年と同様の値となっています。

隠岐諸島北東では2～3℃を示しています。

## 12月上旬の水塊配置と対馬暖流



- ・島根沖冷水：浜田沖北緯35°40'付近に発達しています。
- ・山陰 若狭沖冷水：兵庫県沖北緯37°付近に発達しています。
- ・沖合の対馬暖流：主流は朝鮮半島に沿って北上し、一部は島根沖冷水に沿って北上した後、北緯38°付近を流れたと考えられ、山陰沿岸の海流は弱めであったと推測されます。

\*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています。是非ご利用ください。

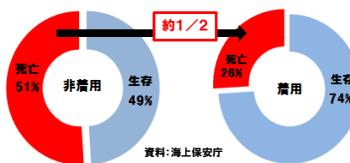
## ★水産課からのお知らせ★

漁船漁業者・遊漁船業者の皆様へ  
操業の際は必ずライフジャケットを着用しましょう!



ライフジャケット着用者の海中転落時の死亡率は、非着用の場合に比べて約1/2になっており、漁業者の生命を守るための効果は明らかです。

漁船からの海中転落者の死亡率  
[平成23～27年の5年間の平均値]



ライフジャケットには様々な種類があります。  
操業形態に合ったものを着用しましょう。



こんなことを尋ねます。  
・なにが、どこで起きているか  
・たれが通報しているのか  
落ちついて伝えてください。



冬期になり、時化の日も多くなりました。  
いつも以上に安全に注意して、無理のない操業を心がけましょう!

遊漁船業者の皆様へ  
保険期間等の変更があった時は、変更申請をお願いします。

## 栽培漁業センター

県内の河川と海域でアユ資源を回復させるための調査を行っています!



県内の河川ではH26年からアユの不漁状況が一段と厳しくなり、これまでにない不漁となっています。その原因として天然アユ資源の減少、河川環境の悪化、餌となる付着藻類の減少、カワウによる食害、疾病の影響等が考えられます。センターではこれら不漁原因の対応策を見だし、アユ漁の復活を目指します。

現在は天然アユ資源の減少原因を探るために、日野川河口周辺の海域にて夜間にアユの仔稚魚を採集し、仔稚魚が生まれた日の推定や、胃内容物調査を実施しています。今後も調査へのご協力をお願いします。



採集(網を曳いています)



選別作業



採集されたアユの仔稚魚

## 平成29年度第1回境港地区漁海況連絡会議

境港地区の水産関係者を対象に水温や潮流などの海洋環境、アジ・サバ・イワシなどの浮魚、スワイガニ等を含む底魚類の漁獲状況や今後の漁獲様に関する連絡会議を平成29年12月14日に境港商工会議所の大ホールにて行いました。水試研究員から以下のとおり各魚種について今後の漁の見通しを報告しました。

項目	予報	
海況について	今後3か月の沿岸水温は平年並みに推移。島根沖冷水は接岸傾向が強まる。	
漁の見通し(12月5~3月)	浮魚	スルメイカ 来年1、2月の漁獲量は前年並みで平年を下回る
	マアジ 平年並み～やや上回る	
	マサバ 平年並み～やや下回る	
	マイワシ 平年並み	
底魚	松葉がに(今漁期) 前漁期を上回る	
	親がに(今漁期) 前年並み～前年を下回る	
	若松葉(今漁期) 前年並み	
	ハタハタ 前年を下回る	
	アカガレイ 前年を若干上回る	
ソウハチ(エテガレイ) 前年を上回る		
マダラ・ホッコクアカエビ 前年を下回る		

今回は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所所属の古川誠志郎氏を講師にお招きし、ブリやクロマクロ(未成魚)等、広い範囲を回遊する魚類に小型センサーを取り付けて行動を調査する研究について御講演を頂きました。ブリの回遊経路として、①日本海を北上し(5～8月)、南下(9～12月)する個体と②北陸沖合に滞在し続ける個体(4月～翌年5月)の2パターンを確認。遊泳水深をみてみると、北上期は浅く、南下期以降はより深くを遊泳する傾向がみられたとお話され、生物の興味深い行動特性に多くの来場者が聞き入りました。



多くの方にご来場頂きありがとうございました。



日本海区水産研究所 古川 誠志郎氏の講演

平成29年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町65番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330



## 共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL 0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530